

2020年10月27日
(改訂日：2020年11月27日)

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
カスタマーサービスセンター

HULFT8 for zOS/MSP/XSP のバイナリ転送圧縮時の不具合について

HULFT8 for zOS/MSP/XSP において、不具合が発見されましたのでご報告申し上げます。以下の内容をご確認いただき、ご対応をお願いいたします。

－ 記 －

1.発生事象

配信処理において、バイナリ転送かつ配信管理情報の「コード変換 (CODE-CONV)」に“R (集信側)”を指定すると、配信データ内の 0x40 が 0x20 に変換される場合があります。

詳細は「3.発生条件」をご確認ください。

2.発生原因

コード変換を行わない場合の内部処理に誤りがあることが原因です。
バイナリ転送用ではない圧縮処理を実施してしまい、配信データ内の 0x40 が 0x20 へと不正に変換されます。

3.発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に、発生します。

- ・ 配信データに 0x40 が連続して 3 つ以上存在
- ・ 配信管理情報の「転送タイプ (TRANSTYPE)」に“B (バイナリ)”を指定
- ・ 配信管理情報の「圧縮方式 (COMP)」に“1 (横圧縮)”、“2 (縦横圧縮)”のいずれかを指定
- ・ 配信管理情報の「コード変換 (CODE-CONV)」に“R (集信側)”を指定
- ・ 配信ホストの詳細ホスト情報の「HULFT7 通信モード (HUL7MODE)」に“N (無効)”を指定
- ・ 集信ホストが ASCII 系及び UTF-8 のコードを持つ以下のいずれかの HULFT (Ver.8.0.0 以上) に該当する

HULFT8 for Windows

HULFT8 for UNIX

HULFT8 for Linux

HULFT8 for zLinux

HULFT8 for NonStop

- ・ 以下のいずれかに該当する

【配信管理情報の「転送方法 (DIRECT)」が“D (ダイレクト)”の場合】

集信ホストが Ver.8.0.0 以上、かつ Ver.8.4.0 未満

【配信管理情報の「転送方法 (DIRECT)」が“W (ワークファイル)”の場合】

集信ホストが Ver.8.0.0 以上

4.回避策

「3.発生条件」のいずれかひとつでも該当しなければ、事象は発生いたしません。
最も影響範囲の少ない回避策として、以下をご提案いたします。

- ・ 配信管理情報の「コード変換 (CODE-CONV)」に以下のいずれかを設定してください。
 - S (配信側)
 - N (無変換)

5.対象製品・バージョン

HULFT8 for zOS : Ver.8.1.0～Ver.8.4.1

HULFT8 for MSP : Ver.8.2.0～Ver.8.4.1

HULFT8 for XSP : Ver.8.2.0～Ver.8.4.1

6.正式対応版の提供について

「2020年11月27日」に本障害を修正したマイナーリビジョンアップ版 Ver.8.4.1A をリリースいたしました。障害発生対象のバージョンをご利用中のお客様は、Ver.8.4.1A をご利用ください。

最新のマニュアルやモジュールを入手する場合は、弊社ダウンロードサイトよりダウンロードをお願いいたします。

※マイナーリビジョンアップ版のご提供には、サポート契約の締結が必要となります。

以上

【改訂履歴】

2020年10月27日	初版作成
2020年11月27日	・6.正式対応版の提供について 正式対応版のリリースに関して追記